

校長室より

## 「二松から飛翔へ」

二松学舎大学附属高等学校  
校長 鶴飼敦之

## 太宰府天満宮に行ってきました

初めて福岡県の太宰府天満宮に行ってきました。

6月1日から2日まで福岡県で全国の私立高校の校長対象の研修会が開催され、参加に合わせて前日から福岡入りし、博多市内から足を延ばして、お参りをしてきました。

博多駅から地下鉄と西鉄線を乗り継いで太宰府駅まで約45分。駅を降りると台風の影響で少し雨が降っていましたが、名物の“梅ヶ枝餅”をいただきながら参道をゆっくり歩き、境内入り口にかかる三つの“太鼓橋”を渡って本殿に向かいました。この三つの橋は過去・現在・未来の邪念や罪を清らかにし、菅原道真公（天神さま）に向かう準備を整うために設けられているそうです。天満宮はちょうど花菖蒲が見頃で、境内の池には約55種3万本が咲き誇り、紫・薄紫・白の花々が水面に映る姿は艶やかでした。



ご存じの通り太宰府天満宮は、全国の天満宮の総本宮であり、菅原道真が亡くなった場所の真上にお墓として建てられたのが由来です。1,100年以上にわたり、「天神さま」は学問の神様、文化芸術の神様、厄除けの神様などと広く崇敬され、人々の心のよりどころとして今もなお信仰され続けています。

天満宮は、令和9（2027）年に、道真公が亡くなってから1,125年という大きな節目を迎えるそうですが、この節目を前に、今年の5月から約3年をかけ、124年ぶりに重要文化財の「御本殿」の大改修が行われていました。私が訪ねる数日前に「仮の建物」に一時バトンタッチされたようです。伝統ある本殿の参拝は叶いませんでしたが、「仮の御殿」は、道真公を慕う梅の木が一夜のうちに太宰府まで飛んできたという“飛梅伝説”から着想を得て、鎮守の杜の豊かな自然をコンセプトに周囲の景観との調和と伝統を引き継ぎながら未来へと繋がることをイメージしてデザインしたとのこと。写真（右上）のように屋根には梅の木などが生い茂るユニークな社殿でした。



皆さんの学業成就・大学合格を願い、直接玉ぐしをささげ、天神さまに願いを聞き届けていただけるよう、神職には「二松学舎大学附属高等学校」の名を祝詞に織り込んでいただきました。“神頼み”も力にして夢をつかみ取ろう。



祈願を終えたころには空もすっきりと晴れ渡り、青空が見えていました。前途を祝しているかのようですね。

※ 古代史の行政官庁としては「太宰府」となり、「太」の点がとれます。

地名や今の神社は「太」です。日本史で受験する人は注意してくださいね。

## 私学教育研修会の参加

太宰府参詣の翌日から「私学経営研修会」に出席しました。全国の私立高校の校長・教頭・事務長ら管理職を対象とした研修会で今年のテーマは、『新たなブランドビジョンを描く～私学の先見性・独自性を発揮するには～』と題され、150名を超える方々が集まりました。

これからの時代は予測困難であり、的確な決断を模索しなければならない今こそ、それぞれの私立学校が建学の精神をもとに先見性とともな独自性をもってこれからのブランドビジョンを描くことが重要であるとの提言にそった内容でした。



講演や報告、パネルディスカッションなど盛り沢山の内容で、他の私立学校の校長先生方との意見交換では、「未来を創造する力を育むために」「教職員のキャリア形成」「生徒募集などの情報発信」などについて、知見を深めることができました。プログラムの最後は福岡雙葉中学・高等学校を視察し、探究学習及び英語教育の実際を見学しました。校長先生が「生徒を見てください」とおっしゃるようにホスピタリティに溢れた生徒に感動を覚えました。実り多い研修に参加できたことに感謝します。

## 台風・大雨の影響

前の記事の続きです。研修を終え、福岡を出発するとき（6/2 夕刻）、現地は晴れていましたが、東京の羽田空港は台風の影響で航空機の着陸調整が発生し、福岡空港で1時間ほど待たされることになりました。お陰で自宅に辿り着いたのは深夜、しかも土砂降りの雨模様でした。

翌6月3日も朝から雨。しかも東京地方には大雨洪水警報が出されていました。そのため、朝7時の時点で、学校は休校の措置を決定しました。皆さんも朝5時から天気予報とにらめっこしていたのではないのでしょうか。特に1年生は、初めての柏体育が中止となり、授業に代替、そして休校と振り回される結果になってしまいました。

一方で中学生向けの授業見学会は実施。10組の生徒・保護者が来校してくださいました。大雨の中、学校を見ていただき本当にありがとうございました。休校のため、授業は参観できませんでしたが、急遽OBでもある教育実習生の経験談とチア部のパフォーマンスをご覧いただくことができました。

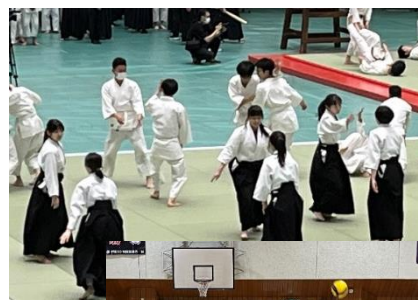


## 部活動の様子

コロナの影響も随分と緩和され、部活動の大会等では選手・引率教員に加えて保護者等の観戦もできるようになってきました。各部活動では3年生最後の試合や演武、校内では発表会等が行われました。大会には保護者の方々も応援に駆けつけ、ギャラリーやコートサイドから声援を送っていただく姿がありました。5月中旬頃から私も一緒に応援に参加しました。

それぞれ部活動での成果を存分に発揮してくれたことと思います。この大会を機に引退となる皆さんには、部活動で培った経験を活かし、次のステップ・目標に向かって頑張ってくれることを期待しています。

ご苦労様でした。後輩の指導もよろしく。



## 胡蝶蘭の花が咲きました



校長室で育てていた胡蝶蘭の花が開花しました。

昨年の4月、校長着任に際して先輩の校長先生から胡蝶蘭のお花をいただきました。校長に就任すると、(こうちょうらん)とかけて胡蝶蘭を贈ることがなんとなく受け継がれているようです。

前任の学校でもお花をいただきましたが、その時はすべて枯らしてしまいました。温度調整がうまくいかず、冬の寒さでダメにしたようです。今回は、上手に管理をしたからか、開花させることができました。まだ一輪ですが蕾も少し顔をのぞかせています。もう少し楽しませてくれそうです。

環境をしっかりと整えてやると花は素直にそれに応えてくれるようです。生徒の成長も同じかもしれません。保護者の皆様と学校とで一緒に見守っていきましょう。